

2020年度事業報告

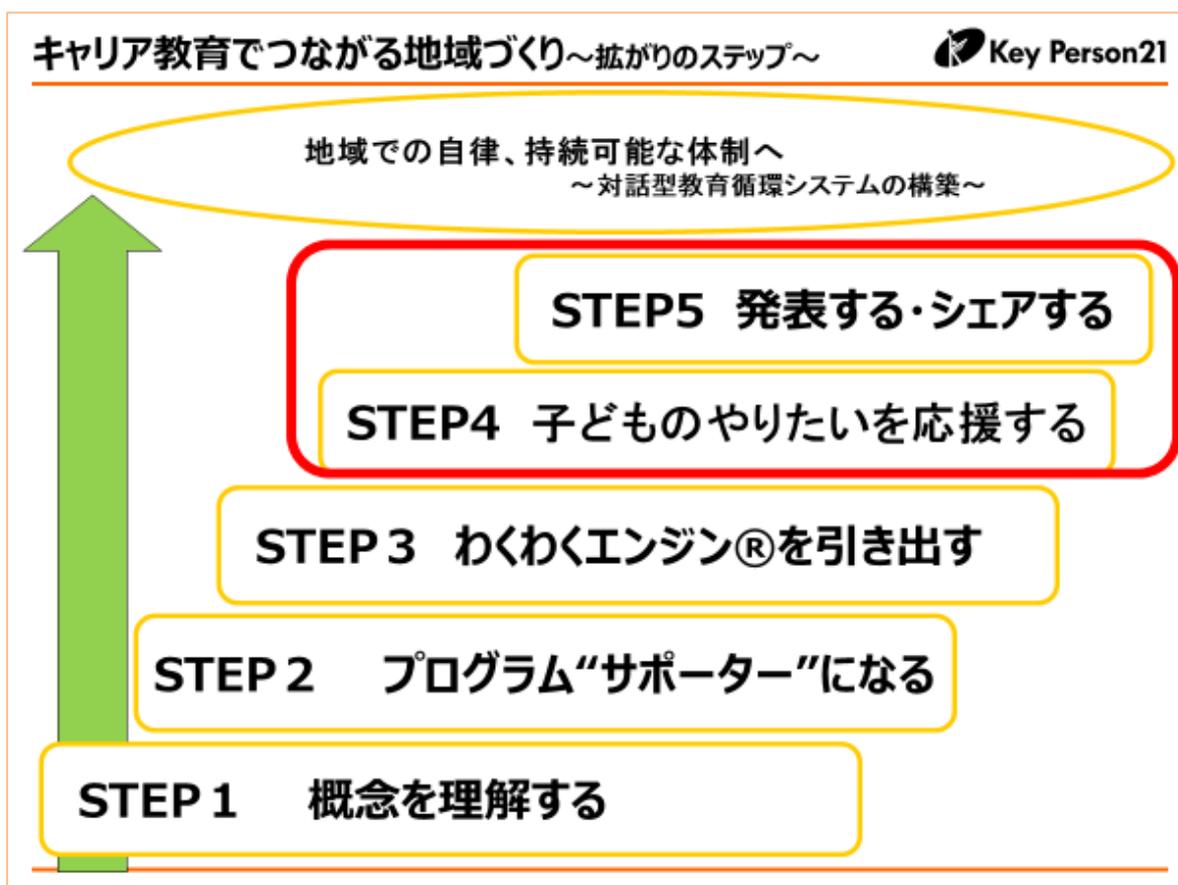
【キーパーソン 21 の活動目的】

キーパーソン 21 は、主に小中学生から大学生世代に対して、様々な社会人との交流の場を作り、自分の将来について考えるきっかけを持つことで、一人ひとりが視野を広げ、社会へ旅立つことの自覚と自立心を醸成していけるよう寄与することを団体の目的としています。また、すべての世代が、ワクワクしながら主体的に社会参加することを支援し、一人ひとりを最大限に活かす社会を創造することを目指します。

【2020 年度目標】

ワクワクエンジン[®]があたり前の社会を目指して、中期事業計画で定めた6つの事業領域それぞれで礎となる事業モデル作りを継続しつつ、一人ひとりの変化変容を物語として発信していきます。また、全国のひとりでも多くの方に届けるために、オンラインを活用した活動を行います。

また、ワクワクエンジン[®]の発見から生まれるたくさんの「やりたい！」という気持ちを親や先生、地域の大人たちが応援し、子ども一人ひとりの成長をサポートすることのできる地域モデルをつくってまいります。



【2020 年度活動報告サマリ】

新型コロナウイルス(COVID-19)の影響の中、新しい可能性がたくさん生まれました。地域チームやパートナーともオンラインで繋がり協力を得たことにより視野が広がり、プログラムの可能性も大きく広がりました。5by20 やわくわくエンジン EXPO もオンラインにより目標達成をし、多くの人へ一人ひとりの変化変容の物語を伝えることができましたと思います。

（親・家庭）

有明地域との連動による「わくわく郵便」文通編の開発・実施。「オンラインすきなものビンゴ」実施。寺子屋今井では、地域の親子とのワークショップを開催した。

（教員・学校）

キャリア教育プログラムとしてオンラインモデル実施。先生版「おもしろい仕事人がやってくる」を5校で実施した。5by20「女子起業！わくわくプロジェクト」は3校に実施し、オンラインの使用と録画配信により目標を達成した。

（大学生・大学）

基本的には本部近郊関東圏の学生中心に活動するスタイルであったが、地域チームの活動活性に伴い新たな活動拠点が生まれたことから、全国の学生に向けて活動の場を提供した。

（企業人・企業）

企業ども応援プロジェクトに3社がオンラインで登壇していただき、わくわくエンジンEXPOでは、地域の大人としてコメンテーターとして伴走していただいた。

（生きづらさ）

学習支援・居場所づくり事業において、オンラインとリアル対面学習をハイブリッドで行った。キャリア教育プログラムは、オンラインで実施した。

（まちづくり）

全国各地のNPO、行政、学校との連携による様々な取り組みからわくわくエンジンEXPOの成功、まちづくりのモデル構築が進んだ。

（プログラム開発）

「親子で発見！わくわくエンジン[®]オンラインすきなものビンゴ」を開発・実施。
先生による「おもしろい仕事人がやってくる」を開発・実施。

（会員力最大化）

説明会をほぼ月1回ペースで実施。オンラインに切り替え、平日夜に開催。新規入会会員には会員コンシェルジュが必ずフォローした。年度後半からキーパーソン21の日を復活した。

（ファンド）

会員数は多いが寄付者が少ないという課題を解決すべく、寄付募集の強化に取り組んだ結果、個人寄付者が大幅に増加。非営利組織評価センターによるグッドガバナンス認証を取得した。

（組織基盤・組織改革）

規程・規約類の整備や社会保険対応等は概ね完了した。経理業務は大きく仕組み化・標準化が進み、外部との連携体制も概ね確立できた。中期事業計画に基づく単年度事業計画の策定とその進捗管理の仕組みがほぼ確立できた。

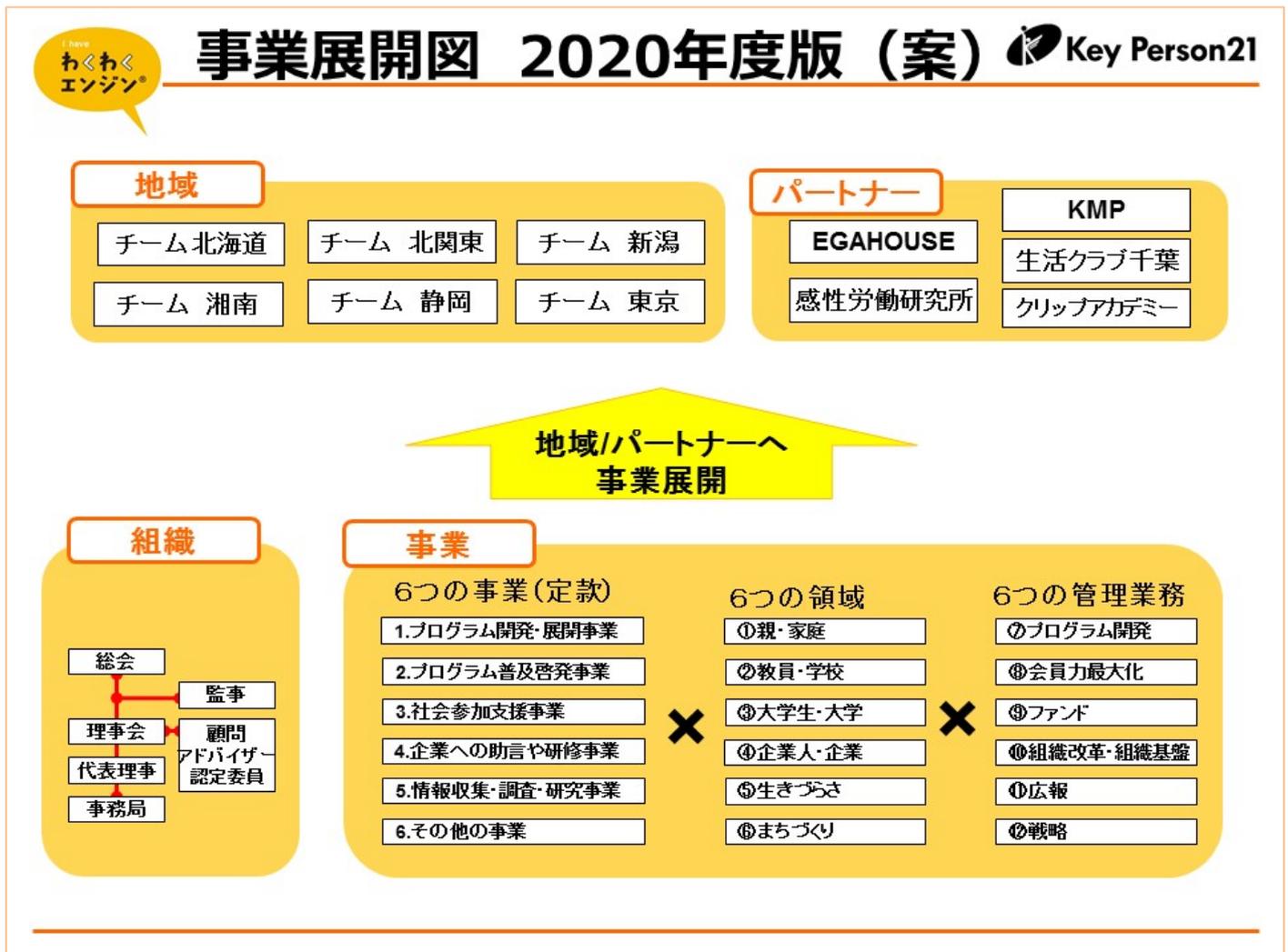
（広報）

情報発信が適切な効果を得られるように、オンライン化に対応しながらイベント広報・広告を実施した。多くのアテンションとイベント参加者を獲得した。

【ガバナンス】

- ・ 理事会と事務局とで経営に関するアジェンダの共有を行い、年間を通じて相互コミュニケーションの強化を行った。
- ・ 開示内容の充実を行うとともに、監事が年間を通じて定期的に理事会に出席し、理事の職務に対する業務監査と会計管理に対する監査を強化した。

【事業展開図】



【事業内容】

I 特定非営利活動に係る事業

1. キャリアプログラムの開発、展開事業

収益金額：¥18,995,891. 費用金額：¥13,741,747.

1) プログラム開発事業 <事業展開図⑦プログラム開発>

- 20年度のテーマ
オンラインプログラムの開発とわくわくナビゲーターの伝道師化！
- 20年度の目標
 - ・ わくわくエンジン®発見 (STEP3) までにとどまらない、プログラムの体系を構築し試行実施する。
 - ・ オンラインプログラムの開発
- 活動項目
 - わくわくエンジン®発見 (STEP3) までにとどまらない、プログラムの体系を構築し試行実施する。
 - ・ わくわくエンジン®から一歩踏み出すアクション部分と親や先生、第三の大人たちがどのようにサポートするのがよいかガイドするためのプログラムの開発を行う。
 - オンラインプログラムの開発

■ 活動サマリ

「家族で発見！わくわくエンジン[®]」オンラインプログラム開発実施

■ 実績

1. 20年3月オンラインわくわくルームでの「おもしろい仕事人がやってくる」オンライン版開発を活かし、9月渋谷本町学園×カシオ計算機株式会社“企業の子ども応援プロジェクト”で初チャレンジ。その後カシオ計算機株式会社については1月原宿外苑中、3月広尾中で実施。その後水平展開で、1月田園調布学園×シナネンホールディングス株式会社、3月赤坂中学校×株式会社WOWOWでも実施。
2. 20年3月オンラインわくわくルームで「おもしろい中高生がやってくる」にもトライ。21年3月わくわくエンジンEXPOの子どもたちの発表のフォローアップの基盤になった。
3. 「親子で発見！わくわくエンジン[®]」夏休みモニターキャンペーン実施 33組参加
4. 「家族で発見！わくわくエンジン[®]」冬のモニターキャンペーン実施 22組（うち4組が父親参加）
→3&4共に満足度100%の高評価。
5. 大人版すきなものビンゴでチームビルディング活用価値を事務局 & 理事によって試し、「おもしろい仕事人がやってくる！」登壇前の企業研修として活用。

＜養成講座の構築＞

1. オンラインわくわくナビゲーター養成講座 0期生：11名育成、夏休みキャンペーンを開催
1期生：4名育成、0&1期生：冬のキャンペーンを開催
2. 21年度の検討課題とする
〈わくわくエンジン[®]発見（STEP3）までにとどまらない、プログラムの体系を構築し試行実施する〉
3月27日、28日開催わくわくエンジンEXPOで発表する子どもたちへの大人の伴走ツールとして、わくわくエンジン[®]発見から発表につながるまでのワークシートを4枚作成。子どもたちの内面の見える化に役立ったと好評。

2) プログラム展開事業

2-1. 親/家庭向けプログラム実施 <事業展開図①親・家庭>

- 20年度のテーマ
子どもが主役！きっかけは、親の変化と成長
- 20年度の目標
 - ・ PTA発によるまちづくりモデルの資金的自立
 - ・ 家庭教育課題解決に向けた親子関係の変化の見える化
- 活動項目
 1. 有明地域の資金自立のための近隣企業・大学の協力者増加へ
 2. 有明関係者の変化変容物語の発掘
 3. PTA発によるまちづくりモデルの展開/他の地域候補先のヒアリングと支援
 4. 親子すきなものビンゴの実施と効果測定
- 活動サマリ
 1. 新型コロナウイルス（COVID-19）対応のプログラム「わくわく郵便」開発と実施
 2. 親の変化の言語化
 3. PTAモデルのオンライン説明会の実施
 4. 親子で発見！わくわくエンジン[®]「オンラインですきなものビンゴ」の実施
 5. 寺子屋今井 体験学習において「親子で映像制作プログラム」を開発
- 実績

1. 「有明プロジェクト」4年目
 新型コロナウイルス（COVID-19）対応 文通編「わくわく郵便」2校実施
 有明小学校、有明西学園6年生 計130名 保護者サポーター24名
 パナソニック株式会社社員5名参加（研修費30万円）
 江東区教育委員会 地区家庭教育運営委員会で「有明プロジェクト」発表
2. 親の変化の見える化事例：『わくわくエンジンEXPO』で保護者サポーター3名登壇
3. 関心ある会員向けに「地域の保護者の力で、夢！自分！発見プログラムを学校にインストール！
 座談会」9/28→16名参加（zoom開催※復活！KP21の日プレ企画）
4. 親子で発見！わくわくエンジン®「オンラインですきなものビンゴ」の開発と実施
 参加親子（夏）33組77名（冬）22組54名→満足度100%の効果獲得
5. 寺子屋今井
 3.社会参加支援事業. 2) 川崎市寺子屋事業 <事業展開図①親・家庭>を参照

2-2. 学校におけるプログラム実施 <事業展開図②教員・学校>

- 20年度のテーマ
 教員が、主体性教育を主体的にやるようになる！
- 20年度の目標
 - ・ 教員一人ひとりの変化変容とは、教員が、『主体性教育を主体的にやるようになる』学校教育を変えていくキーパーソンになることである。教員の主語が自分になる。自分を語れるわくわく先生を増やす。
 - ・ 学校を軸とした教員の気づきや、学びや、成長の物語をピックアップし、ストックする。
 - ・ 教員個人のオンラインの学びの場づくり。（本部開催、地域チーム開催もあり）
- 活動項目
 - 学校実施
 - ・ 学校側の課題を明確にして、その対応を明確にする
 - ・ 本部実施、企業の子ども応援プロジェクト、5By20、パートナー実施、地域チーム実施
 - イベント
 未来の先生展、教員交流、「わくわくエンジン®子どもサミット」（コカ・コーラ財団PJ）
 - 研究調査
 効果測定、新学習指導要領とキャリアパスポート
 - 広報
 モデル2校の事例展開
- 活動サマリ
 - ・ 新型コロナウイルス（COVID-19）の影響で、職場体験が中止となる学校がほとんどであった。その中で、熱意ある先生からのアプローチが多くあり、対面にならずに進められるキャリア教育プログラムのオンライン版の開発がすすんだ。
 - ・ 新型コロナウイルス（COVID-19）の影響でICT化が進む学校の状況に対応してプログラムを柔軟にモディファイ。
 - ・ 本部実施：新型コロナウイルス（COVID-19）の影響でリアル実施は困難だが、オンラインで活路を見出した。
 - ・ 企業の子ども応援プロジェクト：オンライン活用でカシオ計算機株式会社、株式会社wowowは継続実施を実現。新規ではシナネンホールディングス株式会社がオンラインで1校実施。
 - ・ 5by20の最終年度、オンラインにて3校実施とその動画配信にて目標人数達成。
 - ・ 川崎本部実施1,597名、5by20プログラム実施712名、5by20録画配信3,665名、地域チーム

1,080名、パートナー実施280名、合計7,334名にプログラムを届けた。

■ 実績

- ・ これまで企業の子ども応援プロジェクトでは、企業人が学校で「おもしろい仕事人がやってくる」の講演、また対面プログラムで「すきなものビンゴ&お仕事マップ」を実施していたが、企業側、学校側の都合で入校NGとなったところについては、オンラインに切り替え、または、企業人でなく、先生による「おもしろい仕事人がやってくる」を実施。（田園調布学園、立石中、弓削高校、弓削商船専門高等学校、浜田商業高校）
- ・ 対面ワークショップNG、オンラインでの提供の補完として、事前教員研修の強化、特に、先生による「おもしろい仕事人がやってくる」実施校4校に関しては、先生方のわくわくエンジン[®]を引き出し、過去現在未来を言語化するまで行う研修を実施。
 - ① 先生方への研修
 - ② 先生方による「おもしろい仕事人がやってくる」
 - ③ 子どもたちへのワークショップの提供という「学校まるごとわくわくプロジェクト～わくわく先生がつくる教育・未来～」新パッケージの形が見えた。
- ・ 本部実施：新型コロナウイルス（COVID-19）の影響で緊急事態宣言発令となり中止（川崎中）や延期（立石中）を余儀なくされた学校もあったが、オンラインを活用し、自由学園と東洋大学で「すきなものビンゴ」を、豊中市立第九中学校で会員による「おもしろい仕事人がやってくる」を実施。
- ・ 企業の子ども応援プロジェクト：カシオ計算機株式会社は渋谷本町学園・原宿外苑中学校・広尾中の3校で、株式会社wowowは赤坂中にて、シナネンホールディングス株式会社は田園調布学園にて、オンライン版「おもしろい仕事人がやってくる！」を実施。

日時			実績情報								
月	日	曜日	オンライン	対象団体名	区分/対象学年	生徒数	大人	サポーター	プログラム名	協賛企業	
6	3	水	オンライン	新潟高志中等教育学校	高等学校	1	109	0	10	すきなものピンゴ	-
7	18	土	リアル	田園調布学園中等部	中学校	3	211	0	4	わくわくエンジン®発見ワーク	-
7	25	土	オンライン	寺子屋	その他	-	2	1	4	オンライン版すきなものピンゴ	-
8	4	火	ハイブリット	なかわく(中原わくわく学習会)	中学校	3	11	0	20	面接対策プログラム	-
8	13	木	オンライン	モニターキャンペーン(～8/23)	親子	-	44	32	66	オンライン版すきなものピンゴ	-
9	17	木	ハイブリット	渋谷区立渋谷本町学園小学校	小学校	6	88	0	4	オンライン版おもしろい仕事人がやってくる	カシオ計算機
10	10	土	オンライン	森の子児童センター(沖縄県浦添)	その他	-	6	2	4	オンライン版すきなものピンゴ	-
10	16	金	オンライン	豊中市立豊中第九中学校	中学校	2	310	0	4	オンライン版おもしろい仕事人がやってくる	-
10	17	土	オンライン	森の子児童センター(沖縄県浦添)	その他	-	7	2	5	オンライン版すきなものピンゴ	-
10	31	土	オンライン	自由学園最高学部	大学	1	16	0	10	オンライン版すきなものピンゴ	-
11	14	土	オンライン	自由学園最高学部	大学	1	16	0	10	オンライン版すきなものピンゴ	-
11	26	木	リアル	江東区立有明西学園	小学校	6	81			わくわく郵便+文通	
11	26	木	リアル	江東区立有明小学校	小学校	6	48			わくわく郵便+文通	
11	29	日	オンライン	モニターキャンペーン(～1/11)	親子	-	29	25	42	オンライン版すきなものピンゴ	-
1	20	水	オンライン	東洋大学	大学	1	20	4	5	オンライン版すきなものピンゴ	
1	21	木	リアル	葛飾区立立石中学校	中学校	2	115	0	3	「おもしろい仕事人がやってくる」	
1	23	土	オンライン	田園調布学園中等部	中学校	3	94	0	18	オンライン版おもしろい仕事人がやってくる	シナネンホールディングス
1	27	水	ハイブリット	渋谷区立原宿外苑中学校	中学校	2	101	0	6	オンライン版おもしろい仕事人がやってくる	カシオ計算機
2	3	水	オンライン	島根県立浜田商業高校	高等学校	全学	205	0	1	オンライン版おもしろい仕事人がやってくる	
3	4	木	ハイブリット	港区立広尾中学校	中学校	2	56	0	7	オンライン版おもしろい仕事人がやってくる	カシオ計算機
3	6	土	ハイブリット	港区立赤坂中学校	中学校	1	25	0	6	オンライン版おもしろい仕事人がやってくる	WOWOW
3	21	日	オンライン	山口周一家	親子	-	3	1	3	オンライン版すきなものピンゴ	
						合計	1597	67	232		

- 5by20女子起業！わくわくプロジェクト:専修大学(起業家:秋本可愛さん)、新潟市立高志中等教育学校(横山幸代さん)、愛媛県立弓削高等学校、国立弓削商船高等専門学校(原ゆかりさん)にてオンラインで講演、かつその動画を18校に配信し計3,665名(うち16才以上女子1,887名)へと届けた。5by20のグローバルでの目標人数も達成した。

月	日	曜日	対象団体名(正式名称)	学年	生徒数	サポーター	女性起業家
6	23	火	専修大学	-	275	4	介護・福祉業界の課題解決支援 株式会社blanket 秋本可愛さん
9	29	火	新潟市立高志中等教育学校	3/4/5	330	10	NY在住映像エディター 横山幸代さん
12	19	土	愛媛県立弓削高校&弓削商船高専	-	107	5	アプリカと日本の架け橋 株式会社SKYAH 原ゆかりさん
					合計	712	19

2-3. 地域チーム/パートナーによるプログラム実施<事業展開図⑥まちづくり>

- 20年度のテーマ
地域主体の、愛着のもてる地域づくり活動の支援する
- 20年度の目標
 - ・ 自分とまちのつながりが見える化する！
 - ・ 一人でも多くの方が自分のまちのつながりに気づく
 - ・ わくわくエンジン®がまちづくりにつながる事例づくり(広報と連動)
- 活動項目
【地域みんなで子どもを育む持続可能なまちづくりプロジェクトとして】

- STEP1～5までの事例づくり（広報と連動）
 - ・ 目に見えない“つながり”を実感できる人を増やす
 - ・ 地域の“つながり”について自分の言葉で語れる人を増やす
2021年3月「わくわくエンジン®子どもサミット」（コカ・コーラ財団PJ）につなげる
- STEP4大人の応援の仕組みづくり（オンラインでの新たな支援メニューの開発）
- 地域チーム、パートナーへのフォローアップメニューの充実
 - ・ 接点を増やし、各地、各団体、各人の状況、情報をキャッチする（物語化、コンテンツのオンライン開発につなげる）
（地域チーム向け）
 - ・ 地域チーム持ちまわりによる、学び合いの場の定期開催（オンライン）
（パートナー向け）
 - ・ プログラム実施まわりのフォローアップ講座（オンライン・リアル）

地域チーム

■ 活動サマリ

3月27日、28日開催わくわくエンジンEXPOをSTEP 5と位置づけ、特にSTEP 4 わくわくエンジン®を発見した後の子どものやりたいを応援するために必要なツールの整備をおこなった。また広報との連動で地域活動を知らせるコンテンツをYoutubeチャンネルで展開。STEP4、5を見える化することで、STEP 3のわくわくエンジン発見®がスタートの位置づけとなり、学校内や地域での持続可能な体制づくりに繋がるきっかけをつくれた。

■ 実績

STEP4、どのように子どもたちのやりたいを応援するのかを見える化するためのワークシート4種作成。

- ・ EXPO参加地域平均3回のフィードバック会をオンラインで実施、子どもたちとともに各地域の伴走する大人にも全スケジュール出席していただいた。
- ・ フィードバック後レポートを共有。ワークシートとフィードバック会参加によって、わくわくエンジン®を軸に自分の物語の言語化をどうすすめるかのフォローアップメニューを示す。

■ 活動サマリ

- ・ 事務局や各地の状況を共有する機会として、オンラインでヒアリング会、交流会、チームメンバー参加のオンラインビンゴ等実施。地域チームの仕組みがスタートして2年経過し、会計の仕組みを整えたり、地域チームでZOOMの利用ができるようにした。
- ・ 新型コロナウイルス（COVID-19）の影響で、東京、静岡では、学校でのプログラム実施については、延期、中止が続いた。
- ・ そのような中、新潟については、地域の状況がおちついている時期に例年から継続している学校や新規の学校からの要望でプログラムを実施。

■ 実績

- チーム北海道
 - ・ オンライン活動説明会を一般向けとキャリアコンサルタント向けに各1回実施
 - ・ トークセッション「ミライブ」FacebookLiveにて2回開催
- チームにいがた
 - ・ 学校実施7校内 1校は小学1～6年全学年で実施内
 - ・ 高志中等教育学校は事務局による教員研修をスタートとして、4年生は事務局と連携プロジェクト（ハイブリット開催）、8月リーダー研修（4、5年生向け）、9月5by20にあわせてわくわくエンジン®メンテナンス、3月3年生と4プロジェクト実施
- チーム北関東

- ・ チーム北関東の紹介Webページを独自に作成した。
- チーム東京
 - ・ 4校実施の予定がすべて中止・延期
 - ・ チームメンバー内でプロマネ養成
(予定されていた学校：新型コロナウイルス (COVID-19) の影響で中止になった)
江東区立第四砂町中/練馬区立石神井南中/練馬区練馬中/葛飾区立立石中
- チーム湘南
 - ・ 地域チーム交流会幹事 大プレスト大会
- チーム静岡
 - ・ 菊川市民協働センター中高生NPO体験セミナー事前学習会 中高生12名参加
 - ・ 富士市立吉永第一中学実施 中止
- 沖縄 (準備会)
 - ・ わくわくエンジンEXPOに出場する、浦添市の児童館のフォロー

- プログラムの実施は以下のとおり

日時			実施情報						
月	日	曜日	地域T	対象団体名 (正式名称)	区分/対象	学年	クラス	生徒数合計	サポーター人数
6	9	火	にいがた	新潟市立桃山小学校	小学校	4	2	51	7
6	11	木	にいがた	新潟市立桃山小学校	小学校	4	2	52	7
6	16	火	にいがた	新潟市立桃山小学校	小学校	3	3	73	5
6	19	金	にいがた	新潟市立赤塚小学校	小学校	6	2	46	
6	22	月	にいがた	新潟市立桃山小学校	小学校	5	3	100	6
6	30	火	にいがた	新潟市立桃山小学校	小学校	6	3	84	7
7	7	火	にいがた	新潟市立桃山小学校	小学校	2	3	74	6
7	9	木	にいがた	新潟市立茨曾根小学校	小学校	6	1	14	4
8	7	金	にいがた	新潟高志中等教育学校	高等学校	-	-	16	5
9	19	土	静岡	菊川市中高生NPO体験セミナー	その他	-	-	12	10
9	30	水	にいがた	新潟市立南万代小学校	小学校	5	2	60	4
10	30	金	にいがた	阿賀小学校	小学校	6	1	38	6
11	11	水	にいがた	新潟市立大形小学校	小学校	6	2	58	7
11	13	金	にいがた	新潟市立大形小学校	小学校	6	3	89	7
11	20	金	にいがた	新潟通つばさ小学校	小学校	6	3	90	7
12	4	金	にいがた	桃山小学校	小学校	1	3	90	6
1	23	土	にいがた	ふぉうはあと地域活性化プロジェクト	その他	-	-	15	6
3	19	金	にいがた	新潟市立高志中等教育学校	中学校	3	3	118	7
								1080	107

■ パートナー

■ 活動サマリ

- ・ パートナーシップ提携を希望する法人の目的の多様化がすすんでいることもあり、パートナー用スターターセットの再整備を行った。
- ・ パートナーシップ提携を検討するための7つの確認項目の制定。
- ・ 事前のヒアリング強化、より分かりやすい説明資料も作成も行った。
- ・ 全パートナーに対してオンラインでのフォローアップ、オンラインプログラム体験会を行った。

■ 実績

- ・ 既存5パートナーに関しては、すべて継続、さらに、新規で株式会社植松電機とパートナーシップ提携を結んだ。
- ・ わくわくエンジンEXPOにパートナー団体のある2地域（草津市、江津市）から参加、パートナーによる地域づくりが進められている。行政との連携プロジェクト開始（草津市は新型コロナウイルス（COVID-19）の影響で2020年度は延期、2021年度決定）（パートナーによるプログラム実施についてはExcel表で報告）

■ 2020年度 パートナー実施一覧

日時			実施情報						
月	日	曜日	パートナー名	対象団体名（正式名称）	区分/対象	学年	クラス	生徒数合計	サポーター
7	7	火	ゴウツわくわく研究所	島根県立江津高等学校	高等学校	1	2	55	18
9	30	水	ゴウツわくわく研究所	江津市立江津中学校	中学校	2	3	84	12
10	6	火	ゴウツわくわく研究所	江津市立郷田小学校	小学校	6	1	9	14
10	25	日	KMP	レイカディア	その他	—	—	30	
1	19	火	ゴウツわくわく研究所	江津市立高角小学校	小学校	6	2	48	18
1	26	火	ゴウツわくわく研究所	江津市立桜江小学校	小学校	6	1	15	7
2	12	金	ゴウツわくわく研究所	江津市立川波小学校	小学校	6	1	6	7
2	26	金	ゴウツわくわく研究所	江津市立渡津小学校	小学校	6	1	11	7
3	1	月	KMP	大津市立葛川小中学校	その他	—	—	22	10
								280	93

2. キャリアプログラムの普及啓発事業

収益金額：¥4,639,916. 費用金額：¥3,999,737.

1) 広報、コミュニケーション活動 <事業展開図①広報>

■ 20年度のテーマ

- ・ 自分ごととなる「物語化」の推進
- ・ 主にSNSを中心とした計画的な発信とマーケティング

■ 20年度の目標

物語が共感を呼び、6事業領域からの反応が顕在化している

- ・ 「物語化」
- ・ 「SNSを中心とした最適な発信とマーケティング」
- ・ 「対談等の映像化とパブリッシュ（公共化/社会化）」

（総括）

- ・ 情報を受け取る人が「自分ごと」となるコンテンツを数多く発信し、情報発信が適切な効果を得られるように、オンライン化に対応しながらイベント広報・広告を実施、誘導した人が興味を持ち、スムーズに離脱することなく申し込みができるように工夫をこらすことにより多くのアテンションとイベント参加者を獲

得した。会員の方を含む全員広報を行い、広報開眼元年と評すべき活動を行った。

- ・ 今期は、イベントオリエンテッドにて実施することにより得られた多くの知見や気づき、全国から集まった人たちとその思い、コンテンツを今後に生かし、より多くの人・組織を自分ごととなるべく動機付けし、日本全国を元気にする波を起こす活動を加速、行っていく。

■ 活動項目

イベント開催「わくわくエンジン EXPO」(コカ・コーラ財団PJ) 2021年3月27日～28日

■ 活動サマリ

- ・ 植松努さん、山口周さんという世間から認知され、影響力を持つアイコンを効果的に全面に出し、多くのクリエイティブを作成、適切なメディアを通じて関係するステークホルダーや興味関心層に対してアプローチ。集客やアーカイブコンテンツの視聴に貢献した。(4/11更新)
- ・ 団体設立より20年の活動の蓄積として、わくわくエンジン®をインストールした6地域が全国から登壇し、発表する完全オンラインのイベントとなった。当日までの事前申込者は、1200名超。
- ・ わくわくエンジン®を見つけた子ども達は自らのエンジン発動に関する発表を、そして伴走した大人には子ども達の変化や伴走する中での自らの変化について語ってもらうことで、全国の視聴者にわくわくエンジン®の力を伝え、団体としても日本まるごと元気作戦を宣言した。
- ・ ゲスト登壇者として初日は植松努氏、二日目は山口周氏を迎え、更に企業の子ども応援プロジェクトに参画する企業3社の方々のみならず、これまで団体の活動を応援して下さったの方々には応援団として子ども達へールを送ってもらうなど広く団体のステークホルダーを巻き込んで開催。
- ・ 当初予定していた開催後1週間のアーカイブ映像に対して、延長リクエストを多数いただいたことを受け、視聴継続を決定し、4月末時点で2日間7,000を超える視聴回数となっている。

ホームページ (EXPO)	2月リリース～イベント当日まで更新
ランディングページ	申し込みの容易性を高め、離脱しないよう入力フォームを最適化
フライヤー (チラシ)	配布しやすいよう学校実施、地域、企業向けに作成 メール添付で利用
フェイスブック/インスタグラム広告	2週間配信/リーチ数：12.4万 インゲージ (いいね) 2,116 クリック：1,539
広告バナー	イベントのアイコンとして登壇者含め作成 アテンションに効果
広告映像	イベントの象徴としてエッセンスを凝縮したムービーを作成
プレスリリース・メディア	今まで関係性のない地方メディアを含め、50社に配信。今後も関係性を保つため継続。AERA・ログミー (事後) 共同通信 (事前) にて報道 毎日新聞メディアカフェにて対談イベント、記事掲載の中でのPR
SNS (Twitter)	お申し込みリンクをトップ固定、当日までカウントダウンを予約投稿、三行広告、各地域の紹介、PR動画、植松さん山口さんのツイートをリツイート。当日のプログラム内容配信。
SNS (Facebook)	FB……EXPO公式ページ トップ固定、各地域の紹介、スペシャルゲスト発表、キーパーソン応援団紹介、FBライブ配信 FBイベントの活用
SNS (YouTube)	事前のディザイ (一部を、じらし的に見せる) 告知や、事後のアーカイブ視聴の場として活用 わくわくエンジンチャンネルの認知にもつなげる
メールマガジン	1号～8号まで。予告、ホームページリリース、特別号で植松努さん、山口さん紹介、ロケット打ち上げ、各地域の紹介など。HTML配信により開封率のモニタリング (タイトルにて開封率が変化)
わくわくエンジンニュース	EXPO・地域・わくわくエンジン実装例紹介 なぜキーパーソンが、まちづくり、を行うのか、の説明
インフルエンサーの協力	対談映像の作成 (谷畑 前湖南市長) 齊藤剛さん (わくわくエンジン図鑑)
明確なコンセプト・目的・	「全国から集まった多様な個性・志に心揺さぶられた人たちが”僕も!””私た

ゴールの設定	ちの地域でも！”とわくわくして動き出す。全国各地で一歩踏み出した人たちが日本をまるごと元気にしていく」というコンセプトのもと、コンテンツ・施策を構築、オールキーパーソンにて実行した。
--------	---

● 講演・セミナー・イベント登壇

■ 活動サマリ

新型コロナウイルス（COVID-19）の影響でセミナー・イベントの実施が多く見送られる中、最低限必要なイベントにオンラインにて参加した。

■ 実績

講演実績は以下の通り

	年月日	タイトル	主催	場所	参加人数
1	2020/7/18	わくわくエンジン®が未来をつくる	田園調布学園中等部	田園調布学園	211
2	2020/8/8	発見！わくわくエンジン！	KMPサマースクール	栗東芸術文化会館さくら +オンライン	888
3	2020/9/16	「大人ができる3つのこと」 これから生きる子どもに必要な力を育むために	社団法人子ども会連盟 成人研修会	てくのかわさき	35
4	2020/10/4	わくわくエンジンから始まる自分・教育・未来 ～make it happen with WakeWaku engine～	江東区教育委員会主催 地区家庭教育学級	オンライン	25
5	2020/10/15	Curious好奇心・Inspired影響力Teamチームワーク ネバネバをわくわくへ！	ノバルティスファーマ株式会社 中枢神経領域メディカル本部	オンライン	20
6	2020/10/31 2020/11/14	一人ひとりのわくわくエンジンが未来をつくる ～make it happen with WakuWaku engine～	自由学園	オンライン	52
7	2020/11/16	一人ひとりのわくわくエンジンが未来をつくる これから生きる子どもに必要な力を育むために	今治市	今治市中央公民館	110
8	2020/11/22	ニューノーマルにおさまるな答えは自分の中にある 今、私たちができること～自分から始まるキャリア教育～	未来の先生フォーラム	オンライン	40
9	2020/11/26	子どものやる気とわくわくエンジンの見つけ方	エヌアセット コシガタリ	youtube LIVE	450
10	2020/12/1	ココ・コーラ5by20♀女子起業！わくわくプロジェクト」口 事 前教員向けオリエンテーション	愛媛県立弓削高等学校	オンライン	9
11	2020/12/4	一人ひとりのわくわくエンジンが未来をつくる～これからの時代を生きる力とは(立志式)	宮崎県都城市立西中学校	宮崎県都城市立西中学校	300
12	2020/12/23	学校まるごとわくわくプロジェクト わくわく先生がつくる	葛飾区立立石中学校	葛飾区立立石中学校	7
13	2021/1/23	一人ひとりのわくわくエンジン®が未来をつくる コロナ禍がもたらした10のベネフィット	大津中央ロータリークラブ	オンライン	収録のみ
14	2020/1/7	一人ひとりのわくわくエンジンが未来をつくる	島根県立浜田商業高校	島根県立浜田商業高校	15
15	2021/2/3	わくわくエンジン®が未来をつくる	島根県立浜田商業高校	石央文化ホール +オンライン	205
16	2021/2/15	一人ひとりのわくわくエンジンが未来をつくる	今治市	オンライン	18
17	2021/2/16	わくわくエンジン®が未来をつくる	MSPチャイルドドリーム基金	オンライン	23
18	2021/3/2	チームに活かす一人ひとりのわくわくエンジン	高津高校サッカー部	高津高校	29
19	2021/3/9	内側からわきあがるモチベーションとは ～企業とNPOと地域との連携から～	毎日メディアカフェ	毎日メディアカフェ +オンライン	30
20	2021/3/17	トークセッション「『信頼性』で選ぶ協働パートナー最前線」 信頼が非営利組織のブランドをつくる	非営利組織評価センター	オンライン	120
21	2021/3/22	クリエイタークロス ～Fun-loving people～	渋谷クロスFM	渋谷クロスFM	ラジオ
		合計			2587

● 発信したいコンテンツ制作

- ・ 対談、インタビュー映像や記事の作成
- ・ 全国10地域の市長、町長、わくわくイノベーターとの対談、インタビュー（ココ・コーラ財団PJ）
- ・ 社会に影響力のある人との対談、インタビュー（友達の輪形式）
- ・ 協賛や協力くださっている企業の皆さまとの対談、インタビュー

- ・ note100本の物語を作る、伝える
 - ① 伝授・伝播（親視点）
 - ② 会員のわくわくエンジン®エピソード掲載（各領域ごとにピックアップ）
- ・ 変化変容がわかる紹介ショートムービー（CM）の作成

■ 活動サマリ・実績

- ・ 対談・インタビュー映像については、イベントやオンラインプログラムの準備の間、対談シリーズ等でYouTubeチャンネルにて公開を行った。（法政大学児美川教授・ファーザーリングジャパン 安藤代表・まちづくり滋賀県草津市、湖南省・島根県江津市教育等）
- ・ 市長、町長等の首長対談については、交代などもあり、江津市の教育委員会も関わるまちづくり対談にとどまっているが、イベントにおいて応援メッセージをもらうなどしており、今後も対談を企画していく。（社会に影響力のある方達との友達の輪式インタビュー、協賛企業・協力者とのインタビューも同様）
- ・ noteのわくわくエンジン図鑑については、順調に数を伸ばし現在32人が公開。個々のわくわくエンジン®にまつわるエピソードを掲載し、関係する人たちの“自分ごと”化を推進すると、事例が蓄積する中で、法政大学児美川教授等と協力し、理論的・科学的な裏付け獲得を狙っていく。
- ・ 紹介ムービーについては、新潟チーム協力のもと、会員息子さんの変化変容ショートムービーを作成、活用。YouTubeでも1200視聴を獲得している。

● 社会に広く発信するための仕組み化

- ・ プレスリリースの発信の仕組み作成
- ・ SNS全体の活用の仕組み作成
- ・ Facebook（100本）
- ・ Twitter（位置づけの明確化と活用）
- ・ Instagram（未定）
- ・ YouTube（30本）
- ・ note（100本）

■ 活動サマリ・実績

- ・ プレスリリースにおいては、発信内容・ターゲットに応じたメディアを今まで関係のあるメディアと合わせて整理、選定し、イベントに合わせて発信を行った。（今後メディアリストはキーパーソン情報発信の応援団として整備、充実させていく）無料のリリース配信プラットフォームについては、大量配布はできるが、ばらまいているだけのため効果薄。
- ・ SNSに関しては、イベントに合わせて配信活性化を行い、Instagramアカウントのリニューアルを行った。
- ・ YouTubeは、わくわくエンジンチャンネルを開設、対談等のコンテンツをアップし、イベントのティザー、アーカイブの場としても利用。今後チャンネル登録人数1,000人超えを狙い、広告収入が得られるステージを目指す。

● 紙媒体

- ・ ホワイトペーパーもしくはパンフレットの制作検討
- ・ 会員報「WAKUの内弁当」発行2回

■ 活動サマリ

ホワイトペーパーについては、発行を検討したが、効果と投入できるリソース、優先順位を勘案し、今年度の発行は見送りとした。「WAKUの内弁当」については紙とデジタルの発行の利点を比較しながら、継続検討中。

■ 実績

- ・ 6月「WAKUの内弁当」第10号 発行

- 広報領域、オンライン領域に関する情報セキュリティ
- 活動サマリ

プログラムオンライン化や、多くの一般視聴者を想定したオンラインイベントにおいて、可用性を含む、情報セキュリティを担保した。著作権保護、知的財産の活用にも配慮した。
- 実績

オンラインプログラム・イベントにおける適切な機密・個人情報保護と、取得する個人情報に対する適切なパーミッションの獲得。キーパーソン21の個人情報保護方針の見直し実施。

2) わくわくナビゲーター養成講座および講師育成 <事業展開図⑦プログラム開発>

- 20年度のテーマ

わくわくナビゲーターを価値化する
- 20年度の目標

わくわくナビゲーターの学びと成長のためのコミュニティを、全国のわくわくナビゲーターが参加できるようオンライン上につくる
- 活動項目
 - わくわくナビゲーター講師の育成

「すきなものビンゴ&お仕事マップ」のわくわくナビゲーター養成講座の講師を2～5名育成する
 - わくわくナビゲーター2級・1級養成
 - わくわくナビゲーター活動の仕組みの整備
 - ・ 1級養成の魅力の整理
 - ・ 更新の仕組みの整備と運用の見直し
 - ・ 改訂前の講座を受けたわくわくナビゲーターに改訂やプログラムの変更を伝える段取りの実行
 - ・ わくわくナビゲーターの学びと成長の場づくり（わくわくナビゲーターラボ（仮称））
 - わくわくナビゲーター養成講座の開催
 - ・ 川崎本部開催 リアルとオンライン合わせて15回開催
（リアルかオンラインかは新型コロナウイルス（COVID-19）の状況に応じて判断）
 - ・ 地域開催は普及の状況に合わせて開催
 - 認定委員会の開催（1回）
 - ・ 講師育成、わくわくナビゲーター養成講座の進め方などに関する意見をいただく
- 活動サマリ
 - ・ わくわくナビゲーター養成講座を10回計画し、3回中止となったものの、武蔵小杉で3回札幌・新潟・宮崎で各1回開催することができ、ビンゴ37名コミュ7名のわくナビが誕生した。
 - ・ 講師育成は全国各地に講師を誕生させるべく、講師講座の構築を試み、テキスト化（映像テキスト含む）を進めた。
 - ・ わくナビの情報交換の場の1つとしてFacebook上にわくナビラボを開設した。
 - ・ 認定委員会を1回開催。今年度は予定通りにはプログラム実施が行えず、1級人材の育成には至らず認定を見送った。オンラインでのプログラム実施が増えたことを認定委員会に報告、オンラインわくナビの位置づけと認定の道筋を検討いただいた。
 - ・ オンラインわくナビ養成講座受講者は3級、オンライン引き出し力強化講座受講者は2級、オンラインプログラム実施の経験を経て認定委員会で認定された者を1級とする。次年度から1級認定を開始する。
 - ・ オンラインすきなものビンゴのナビゲーターは、リアルビンゴ1級わくナビと個別アクション実施経験者に声かけて育

成。オンラインプログラムの開発メンバーは0期、養成講座受講者は1期と名付けた。

■ 実績

- ・ すきなものビンゴ&お仕事マップ 7回開催：2級22名・3級15名
- ・ コミュニケーションゲーム 1回開催：4級1名・3級 2名・2級4名
- ・ オンラインわくナビ 2級：0期10名・1期6名 計16名
わくナビ養成講座

プログラム名	開催日	実施内容詳細		内訳人数	開催場所	
オンラインビンゴ	3月4日	事務局スタッフで開発		5	オンライン	
	7月4日	0期生OLわくナビ講座		5	オンライン	
	7月5日	宮崎オンライン体験		4	オンライン	
	7月12日	0期生OLわくナビ講座		2	オンライン	
	9月20日	1期生OLわくナビ講座		6	オンライン	
	9月26日	OL強化講座		2	オンライン	
	10月26日	OL強化講座		3	オンライン	
	延べ参加人数				27	
	新規オンラインわくナビ		2級	17		
すきなものビンゴ	4月24日	体験+引出	中止	0	武蔵小杉	
	5月23日	体験+引出	中止	0	武蔵小杉	
	5月24日	メイン	中止	0	武蔵小杉	
	10月18日	体験+引出	体験	6	武蔵小杉	
			引き出し	6		
	10月22日	体験+引出	体験	6	武蔵小杉	
			引き出し	6		
	11月8日	体験+引出	体験	5	札幌	
			引き出し	7		
	11月29日	メイン	メイン	8	武蔵小杉	
	12月5日	体験+引出	体験	8	新潟	
			引き出し	8		
	12月6日	新潟	メイン	8		
	12月5日	体験+引出	体験	6	宮崎	
			引き出し	6		
	12月6日	メイン	メイン	6		
2月20日	ビンゴ体験引出	中止	0	武蔵小杉		
延べ参加人数				86		
新規わくナビ ビンゴ&マップ		4級	0	累計	8	
		3級	15	累計	72	
		2級	22	累計	170	
		1級	0	累計	19	
コミュニケーションゲーム	1月9日	コミュ	トレ1	7	武蔵小杉	
			トレ2	6	武蔵小杉	
	1月10日	コミュ	トレ3	4	武蔵小杉	
	延べ参加人数				17	
	新規わくナビ コミュニケーションゲーム		4級	1		
3級			2			
2級			4			

3. 社会参加支援事業

収益金額：¥19,415,063. 費用金額：¥18,481,802.

1) 川崎市学習支援・居場所づくり事業（通称：なかわく/こすわく）

<事業展開図⑤生きづらさ>

- 20年度のテーマ
生きづらさこそ社会変革のスタート！オンラインを活用し、生きづらさを抱えた子どもの一人ひとりの脱皮感・成長感・変化変容物語を取り上げる
- 20年度の目標
変化につながった子どもや学習サポーターの事例を、3月開催予定の「わくわくエンジン®子どもサミット」でシェアする
- 活動項目
 1. 川崎市の委託事業「（通称）なかわく」と自主事業の「（通称）こすわく」の学習支援居場所づくり事業を行う
 - 学習支援と居場所の機能を備えたオンラインのプログラムの充実
※新型コロナウイルス（COVID-19）収束後、リアル対面での学習支援が復活しても、オンライン学習は並行して行う見込み
 - (1) オンラインによる学習支援と居場所機能を充実する
 - (2) わくわくエンジン®発見をオンラインプログラムで試行する
 - (3) 学習支援の現場のメンバーによるわくわくエンジン®活用モデルを試行する
 - (4) 面接対策として体系立てたプログラムを構築する
 - (5) 子ども、学習サポーターの変化変容物語の事例をシェアする
(2021年3月27日「わくわくエンジン®子どもサミット」コカ・コーラ財団PJにて)
 2. 生きづらさからの社会課題発見と対策を考える会（2回開催と昨年の振り返り1回）
 - (1) N高へ通う親子から社会課題を見出す
 - (2) なかわく、こすわくの活動から社会課題を考える
 3. こすわく事業への寄付確保と寄付者とのコミュニケーション強化
 - (1) 継続寄付いただている企業・グループ・個人など
 - (2) 事業展開図⑨「ファンド・財務」との連携

○なかわく活動報告

- 活動サマリ
 - ・ 新型コロナウイルス（COVID-19）の影響により4月から5月末まで教室は閉室。
 - ・ 4月末からオンラインと郵便によるリモート学習を開始。
(オンライン学習についての詳細はホームページ上に掲載)
 - ・ 6月から教室。
 - ・ 8月にキーパーソン21のキャリア教育プログラム「わくわくエンジン®」を中3生対象に行った。
 - ・ 3月の今期最後の日に、感染対策を徹底した上で「卒業を祝う会」を簡単に実施。
- 実績
 - ・ 中3生全員高校へ進学。通年で学習をサポートした生徒の工業高校、定時制高校入学者が今年度初めて0名となり、全員普通高校への入学を果たした。

○こすわく活動報告

■ 活動サマリ

- ・ 新型コロナウイルス（COVID-19）の影響で閉室を余儀なくされた3月から5月は、オンラインによるリモート学習を週1回2時間で、それぞれにマンツーマンで行い、途切れることのないサポートを提供することができた。
- ・ 6月から3月までは、換気、消毒を心がけ、過密を防ぐために机と椅子の配置などを配慮した。また、緊急事態宣言中の不要不急の20時以降の外出自粛に備え、開室時間を1時間前倒し、全員20時には帰宅出来るよう心掛けた。

■ 実績

- ・ 中3生、1名は第一志望の高校に特待生で入学を果たした。
- ・ 中1・2生の3名は毎回復習を取り入れながら、学校進度に合わせた学習を行なっている。
- ・ こすわくでの学習で介護の資格を取り、介護職で一般入社を果たした社会人1名は、現在、療育手帳の返還を検討中で、学習を通して自立への道を歩んでいる。

○こすわく英会話活動報告
■ 活動サマリ

- ・ 新型コロナウイルス（COVID-19）での生徒達の居場所を提供するために、楽しく英会話を学べる環境づくりに苦心。
- ・ 世界遺産や各国巡りのビデオなども駆使して、楽しく臨場感のあるクラス運営に尽力。
- ・ 英単語トリビアや語源を紹介して、学校教育で得られない、幅広い語学レベルの提供を行う。
- ・ 可能な限り、英語ONLYでのクラス進行に努め、多種の教材を探索して、実践能力の向上に努める。

■ 実績

- ・ 基礎クラスの生徒は、殆んど初心者レベルからのスタートにも拘わらず、ヒアリング能力が伸長し、ネイティブ講師の話す内容がかなり理解できるまでになる。
- ・ 応用クラスの生徒は、更に語学を通じて視野を広げて、外国人との交流を深めて、今後のライフワークへの大きな期待が膨らむ。
- ・ 今年度は、新型コロナウイルス（COVID-19）の影響により、生徒数も数名に減じて、全25回のレッスンに留まり、英検等のテストも回避したが、新年度は並行してチャレンジする

○生きづらさからの社会課題発見と対策を考える会（2回開催）

1テーマ：N高へ通う親子から社会課題を見出す

2テーマ：なかわく、こすわくの活動から社会課題を考える

2) 川崎市寺子屋事業 <事業展開図①親・家庭>
■ 20年度のテーマ

主体的な学びの提供

■ 20年度の目標

- ・ 川崎市内の会員の積極的参加を得られるように呼びかけ、体験学習のプログラム実施運営サポーターとしてプログラムに参加してもらえようになりたい
- ・ 自分のわくわくエンジン[®]を生かして周りの役に立つことを考えるプログラムやわくわくエンジン[®]発動ストーリーの動画制作プログラムを実施したい

■ 活動項目

- ・ 川崎市教育委員会より、5年目となる寺子屋事業の委託を受け、中原区内にある川崎市立今井小学校で事業を行う
- ・ 子どもたちに放課後の居場所を提供すると同時に、地域で子どもたちを育てるため、地域の大人を中

心とするスタッフにより子どもたちへ学習支援を行う

- ・ 週末を使って普段学校授業では教わらないような学びを提供する
- ・ 今井小学校の子どもたちとその保護者に、年間26回の水曜日の放課後に学習支援の場を、年間6回の土曜日に親子を対象とする体験学習の場を提供する
(新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の影響により、方法や回数の変更の可能性あり)

■ 活動サマリ

1. 新型コロナウイルス(COVID-19)感染拡大防止のためオンラインで寺子屋体験活動を実施 (前期)
2. 寺子屋体験活動でわくわくエンジン[®]映像化プログラムの開発及び対面で実施 (後期)
3. 水曜日の放課後に地域の大人が寺子屋先生となって学習教室を開き子どもたちの学習支援を行う (後期)

■ 実績

1. 寺子屋体験活動においてオンラインで「哲学対話」実施→ 6家族10名参加
2. 寺子屋体験活動においてオンラインで「すきなものビンゴ」実施→1家族3名参加
3. 寺子屋体験活動において、わくわくエンジン[®]映像化プログラム 連続3回のワークショップを実施→4家族8名参加

最終回では参加の親子のみなさんが作成したわくわくエンジン[®]動画上映会を開催し、今井小学校の教頭先生及び教育委員会、子ども会、わくわくプラザからも見に来ていただいた。
4. 寺子屋学習教室において、地域の大人が寺子屋先生となって子どもたちの学習の支援 を放課後実施した。→16回実施：のべ205名参加

4. 人材育成を目的とした企業、団体等への助言、研修事業

<事業展開図④企業人・企業>

収益金額：¥110,000. 費用金額：¥330.

■ 20年度のテーマ

会社人を社会人に！自ら組織の枠を超えるわくわく組織人倍増

■ 20年度の目標

企業向け領域における目標キーワード

- ① 企業の「ニーズ・シーズ」の収集と理解
- ② KP21 の強みである「教育現場との接点」の洗い出しと整理
- ③ 会社人を社会人に！個人の「変容ストーリー」の発信

■ 活動項目

- ・ 企業窓口との接点の拡大 (ニーズ・シーズの情報収集)
- ・ ニーズ・シーズに向けたテーマの明確化
(例：越境人材、わくわくな人材育成、教育現場との協働 など)
- ・ 教育現場 x 会社人から個人が変容した事例をストーリー化
- ・ ストーリーをもとに、企業のニーズ・シーズに応え、これを越える提言材料として接点を増やし、深める
- ・ 博報堂H-CAMPへの支援を続ける

■ 活動サマリ

- ・ 新型コロナウイルス (COVID-19) で研修、講演についてもオンラインでのご依頼が中心になった。

- ・ 企業の子ども応援プロジェクトにおいては、「オンライン版おもしろい仕事人がやってくる」のオンラインでの企業研修2～4時間のパッケージを開発。
- 実績
 - ・ 企業の子ども応援プロジェクト参加企業、カシオ計算機株式会社、シナネンホールディングス株式会社、株式会社WOWOW3社で研修実施。
 - ・ 企業人のストーリー紹介（わくわくエンジン図鑑）2社2名に登場していただいた。
 - ・ 博報堂H-CAMPについては新型コロナウイルス（COVID-19）の影響で中止。
 - ・ 新型コロナウイルス（COVID-19）の状況を見て、引き続き支援を行う。

5. 教育に関わる情報収集、調査研究及び発信事業

収益金額：¥0. 費用金額：¥0.

<事業展開図⑪広報・⑫戦略>

- 20年度のテーマ
社会の課題へのソリューションとしてのアピール力をもつ
- 20年度の目標
社会に共感と理解とインパクトを与えられる調査研究と発信を行う
- 活動項目
 - 効果測定方法の検討
 - ・ 事業の6つの領域で抱える課題を調査研究、効果測定を行う。結果について関係各署に発信、提言する機会を探る
 - ・ コカ・コーラ財団のプロジェクトの地域活性としての効果測定を行う
 - ・ わくわくエンジン®を発見した大人の変化変容を調査研究する
 - ・ Webアンケートを行い、社会課題のデータを獲得し、そのソリューションをキーパーソン21が持っていることの確認と発信を行う
 - 活動サマリ
 - ・ インターネット調査会社を活用し新型コロナウイルス（COVID-19）禍の親子関係についてweb調査を実施。課題を解決できる方法としてオンラインプログラムを提案。
 - ・ KMPイベントで発表、オンラインプログラム告知につなげた。
 - ・ わくわくエンジンEXPO登壇の子どもたち、伴走した大人にアンケート調査を実施。
 - ・ わくわくエンジン®を発見した大人の変化変容ストーリーを『わくわくエンジン図鑑』としてnoteで発信。
- 実績
 - ・ 「With コロナ時代の親子の関係性の変化に関する調査」を小中学生の子をもつ保護者を対象に7月実施。1,021名有効回答。新型コロナウイルス（COVID-19）禍で親子の時間が増えるも関係性はよくなっていない。もっと子どもと好きなことについて話し、応援したいニーズに対し、親子が対話できる「オンラインですきなもののビンゴ」キャンペーン展開へ。
 - ・ わくわくエンジンEXPO登壇者アンケートの調査結果集計中。5月末取りまとめ予定
 - ・ わくわくエンジン図鑑：2020年5月15日No.1～2021年3月25日No.32発行。

6. その他目的達成のために必要な事業

収益金額：¥0. 費用金額：¥0.

1) 会員力最大化 <事業展開図⑧会員力最大化>

- 20年度のテーマ

会員継続率100%、退会率0%を目指して！

- 20年度の目標
 - ・ 会員全員とつながっている
 - ・ 地域チームが独力で会員獲得・継続・活躍の活動を行える準備を整える
- 活動項目
 - 【新規入会者増加策】
 - ・ 地域チームの説明会等の普及策のアドバイス・支援
 - 【新規入会者フォロー策】
 - ・ スターターキットの開発・配付と会員コンシェルジュによる入会初期フォロー
 - ・ 本人の興味関心やKP21でやりたいことに基づき、グループや研究会・交流会への所属促進
 - 【既存会員との関係強化策】
 - ・ 全会員への代表インタビューによる、わくわくエンジン[®]発動&所属感アップ
 - ・ 継続的・計画的な個人会員とのコミュニケーション手段の確立と実行（12領域の活動への会員参画、テーマ研究会等や会員交流会等をオンライン提供 等）
 - ・ 会員情報管理&活用の仕組みを構築・運用・レベルアップする⇒多様な会員の知見やノウハウを多様な活動とマッチングさせる
 - ・ 会員活動のために役割別要件と運用方法等を整備する
 - ・ 継続的・計画的な法人会員とのコミュニケーション手段の確立と実行
- 活動サマリ
 - ・ 説明会をほぼ月1回ペースで実施。新型コロナウイルス（COVID-19）の影響により全面的にオンラインに切り替え、平日夜に開催。本部説明会に全国から参加申込が来るようになった。
 - ・ 新規入会会員には会員コンシェルジュが必ずフォローし、本人の希望に応じて、6領域と地域のメッセージンググループにも招待することを定番化。
 - ・ スターターキット初版完成。5月に会員向けホームページに公開予定。
 - ・ 代表と会員の対話の場として「あつこの部屋」を開催。
 - ・ 会員の学びと行動のきっかけ作り、交流の場として「キーパーソン21の日」を復活。
- 実績
 - ・ オンライン説明会：年間9回開催。
 - ・ あつこの部屋：7～8月に11名と1対1で実施。
 - ・ キーパーソン21の日：9月のプレ実施後、10月～2月毎月開催。（3月はわくわくエンジンEXPO開催のためお休み。）
 - ・ **2020年度入会者50名 退会者25名。**

2) 大学生応援/OBOG会 <事業展開図③大学生・大学>

- 20年度のテーマ
「私たちキーパーソン21育ち！」の“うちの子”育てを活発に！
- 20年度の目標
 - ・ 現役生、OBOGの活性となるようなコミュニティを整える
 - ・ 本部や地域チームを軸に、全国各地で学生会員が活躍できる土壌をつくる
- 活動項目
 - ・ 学生会員活動の活性化
 - ・ 学生会員募集オンライン説明会
 - ・ 「おもしろいOBOGがやってくる！」プログラム実施

- ・ わくわくエンジン®1分CM制作

■ 活動サマリ

これまで、基本的には本部近郊関東圏の学生中心に活動するスタイルであったが、地域チームの活動活性に伴い新たな活動拠点が生まれたことから、全国の学生に向けて活動の場を提供することが叶えられるようになり、全国各地で学生会員が活躍できる土壌を整備し始めることができた。

■ 実績

- ・ 全国（北海道、新潟、神奈川、福岡）から新規学生会員4名入会
- ・ 全国を対象とした「学生会員オンライン募集説明会」の初開催
- ・ NPO法人ドットジーピー経由で、インターン生（東京）1名参画（2～3月）
- ・ 第二回OBOG会を開催

II 営利活動に係る事業

1. その他の事業

1) 寄贈品、グッズなどの物品販売

特に活動計画なし

2) 著作、出版物の制作・販売

特に活動計画なし

3) 会員のサークル活動支援事業

特に活動計画なし

【管理内容】

財政基盤を構築する〈事業展開図⑨ファンド〉

- 20年度のテーマ
ファンドレイジング戦略の構築とPDCAの定着
- 20年度の目標
 - ・ 会費＋寄付＋助成金の事業計画達成
 - ・ 収支均衡に近づける
- 活動項目
 - 【生きづらさ領域】
 - ・ こすわく川崎市助成金申請
 - ・ こすわく寄付者とのコミュニケーション
 - ・ オンラインプログラム開発・ネット環境整備に向けた緊急寄付/助成金申請の実施
 - 【ファンド領域】
 - ・ 寄付者リストの確認・定期的なコミュニケーション
 - ・ 個人寄付者の拡大（説明会、講演会、Webサイト、SNSなど）
 - ・ 法人寄付者の拡大（講演会、会員からのご紹介など）
 - ・ オンラインプログラム普及のためのファンドレイジング
 - ・ マンスリーサポーター制度の検討
- 活動サマリ

会員数は多いが寄付者が少ないという課題を解決すべく、寄付募集の強化に取り組んだ。Webページ

のトップに「寄付する」というリンクを設け、寄付ページへの導線を強化した。また新型コロナウイルス（COVID-19）の影響を受け、「こすわく」の継続のために寄付を呼びかけた。わくわくエンジンEXPOの申し込み画面にも寄付のご案内を掲載した。マンスリーサポーター制度の導入を柱とするファンドレイジング戦略を策定した。

■ 実績

- ・ 「こすわく」継続のための寄付呼びかけを実施。コストコホールセールジャパン株式会社から 50 万円、個人 17 名から 224,000 円の寄付を受領。
- ・ 持続化給付金を獲得（200 万円）。
- ・ わくわくエンジン EXPO 参加者からの寄付は、132 名から 358,500 円を受領。
- ・ 個人寄付者が大幅に増加。150 名から 1,065,790 円を受領（前年度：22 名から 267,000 円）。

組織改革・基盤強化 <事業展開図@組織改革・基盤強化>

■ 20年度のテーマ

わくわくする事をやれる組織、エクセレントなNPOに向けた基盤整備

■ 20年度の目標

非営利組織評価センターのグッド・ガバナンス認証にふさわしい組織基盤整備

■ 活動項目

【ガバナンス】

- ・ 理事会と事務局の相互コミュニケーションによる経営視点の議論の活性化
- ・ 経営視点を踏まえた監査体制、開示体制の強化

【人事・労務】

- ・ 必要な人の採用・業務割り当て & 引き継ぎ・サポート体制の確立
- ・ 人に関わる規程・規約・契約関係・評価の仕組み・面談システム仕組み等の整備・高度化

【経理・財務】

- ・ スムーズな決算ができるような経理業務の仕組み化・標準化と、外部活用による負担軽減・ルーチン化

【総務】

- ・ 外部から評価されるレベルのNPOとしての規程・規約・組織体制の整備（外部評価を高めて、資金投入してもらえる組織へ）
- ・ 各自の事務局業務の標準化・マニュアル化・複数体制への移行
- ・ 役所手続きの標準化・簡素化・ルーチン化
- ・ 事務所移転問題の検討・方向性決定・作業推進
- ・ グッド・ガバナンス認証の取得と維持の体制確立

【事業計画管理】

- ・ 中期事業計画の更新、単年度事業計画の策定・進捗確認・共有、領域間調整・連携の仕組みの運用

【情報管理】

- ・ Salesforceの仕様改訂、情報整備・充実、さらなる活用策の検討・推進
- ・ 文書管理規定に基づくDropboxの電子文書、紙文書等の管理・運用

【リスクマネジメント】

- ・ 顕在化リスクへの関連性・優先順位を考慮した対応（2020年度は情報セキュリティ分野を中心に想定）

■ 活動サマリ

- ・ 規程・規約類の整備や社会保険対応等は概ね完了した。
- ・ 経理業務は大きく仕組み化・標準化が進み、外部との連携体制も概ね確立できた。
- ・ 中期事業計画に基づく単年度事業計画の策定とその進捗管理の仕組みがほぼ確立できた。

■ 実績

【人事・労務】

- ・ 必要な人の採用・業務割り当て&引き継ぎ・サポート体制の確立→事務局スタッフ3名の採用実施、広報はサポート1名を追加、20年度の工数は充足
- ・ 人に関わる規程・規約・契約関係・評価・面談の仕組み等の整備・高度化→社会保険加入者発生に伴う就業規則等の改定、雇用契約の締結・更新

【経理・財務】

- ・ 経理業務の仕組み化・標準化と外部活用による負担軽減・ルーチン化→経理業務の現状課題を監事と実態確認し理事&経理担当で対応方法決定

【総務】

- ・ 外部から評価されるレベルのNPOとしての規程・規約・組織体制の整備→NPO評価センターより**グッド・ガバナンス認証の取得**
- ・ 各自の事務局業務の標準化・マニュアル化・複数体制への移行→各自の事務局業務の標準化・マニュアル化は対象業務の選定に終わった
- ・ 役所手続きの標準化・簡素化・ルーチン化(寄付者・寄付金管理等)→役所手続きの標準化・簡素化・ルーチン化の課題を洗い出し対応開始
- ・ 事務所移転問題の検討・方向性決定・作業推進→事務所移転(2021年3月)完了

【事業計画管理】

- ・ 中期事業計画の更新、単年度事業計画の策定・進捗確認・共有→単年度事業計画を12領域に分けて策定し、毎月の理事会にて進捗確認
- ・ Sales Forceの仕様改訂/情報整備・充実/さらなる活用策の推進→Sales Forceに関しては情報整備(新規データ入力)および情報発信のための活用継続
- ・ 文書管理規程に基づくDropBox、slackの電子文書、紙文書等の管理・運用→**文書管理は、引越越しに伴い物理保管の必要性を見直し廃棄した。**

【情報管理】

- ・ 顕在化リスクへの関連性・優先順位を考慮した対応→顕在化リスクの対応は、必須対応項目を検討し対応、継続してリスク低減を図る。

戦略を立案する<事業展開図⑫戦略>

■ 20年度のテーマ

わくわくエンジン[®]という価値観があたり前の新しい社会を創るための作戦を立案実行する

■ 20年度の目標

- ・ わくわくエンジン[®]があたり前の社会のゴールイメージが明確になっている
- ・ ゴールイメージ達成のためのキーパーソン21のブランド&マーケティング戦略が確立されている

■ 活動項目

外部のアドバイザーやコンサルタントと協働して以下を行う

【KP21の理念・考え方の飛躍的普及・拡大策】

- ① KP21やわくわくエンジン[®]が求められるポイント、他との違いを徹底的に議論&言語化
- ② あたり前レベルの普及のためのターゲット像の明確化

- ③ ターゲット層へのインタビューにより普及を妨げている理由解明
- ④ わくわくエンジン[®]があたり前の社会のイメージの言語化・明確化
- ⑤ 重点ターゲット層に共感・納得を得るメッセージ&方法考案
- ⑥ 重点ターゲット層に共感・納得を得るメッセージ&方法を広める広報施策を広報領域担当と 検討
&実行（広報チームメイン）

【当たり前になった状態の運営・体制等の構想計画策定】

上記④を受けて、事業・プログラムの提供形態・会員・パートナー・養成講座・組織等を検討する

■ 活動サマリ

3月に事務局メンバーと理事を対象に外部講師による戦略勉強会開催。2021年度には、勉強会講師を担当したコンサルタントの支援を受けて、戦略策定予定。

■ 実績

本年度は、外部のアドバイザーや、コンサルタントへの相談および選定を行った。

以上